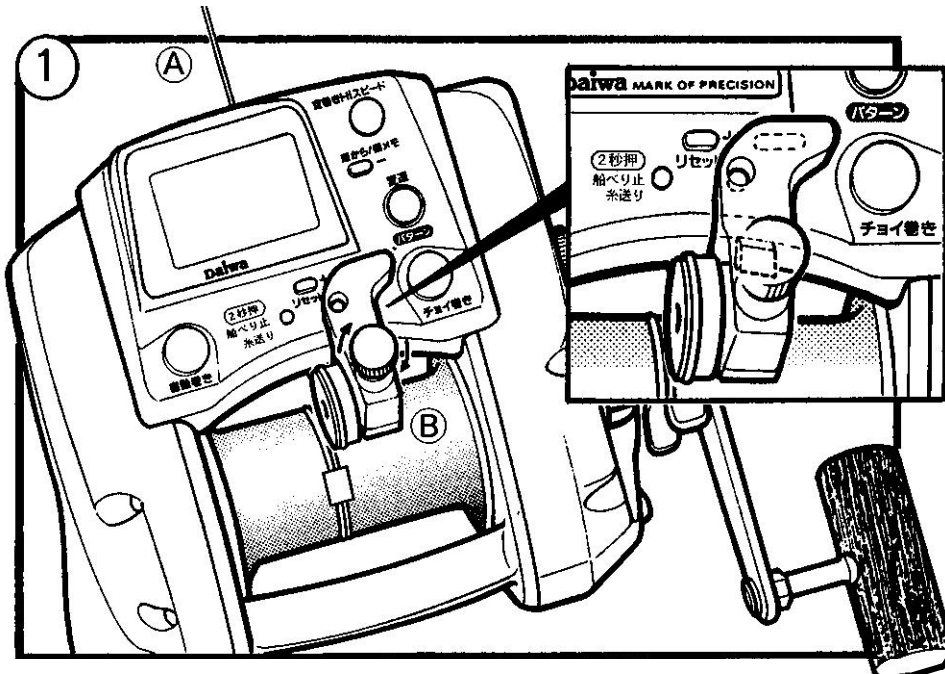


# スケール入力

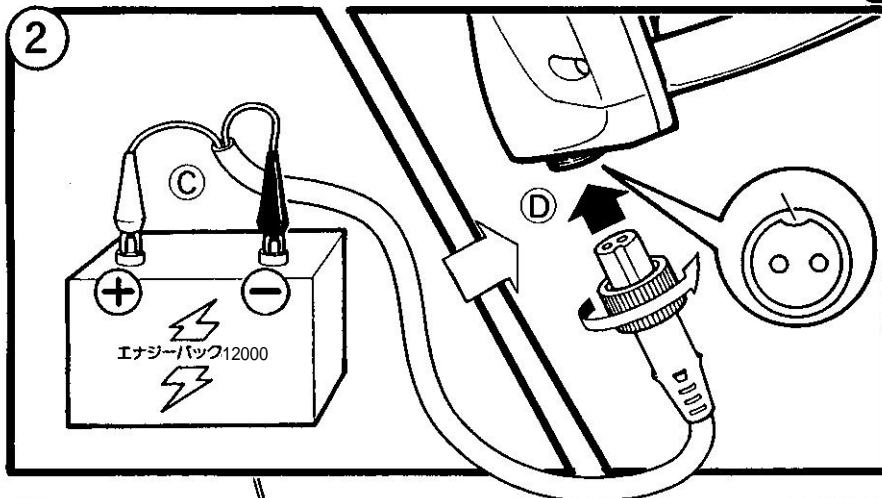


(A)道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

**ご注意**

PEライン等の新素材の糸を巻く場合には糸滑りの危険性がございますので、テープを結び目に貼り付け、糸が滑らず巻けることを確認してください。

(B)図のように、「速攻スケール」をリール本体に取り付けます。



(C)ワニグチクリップを電源( DC12V )につなぎます。

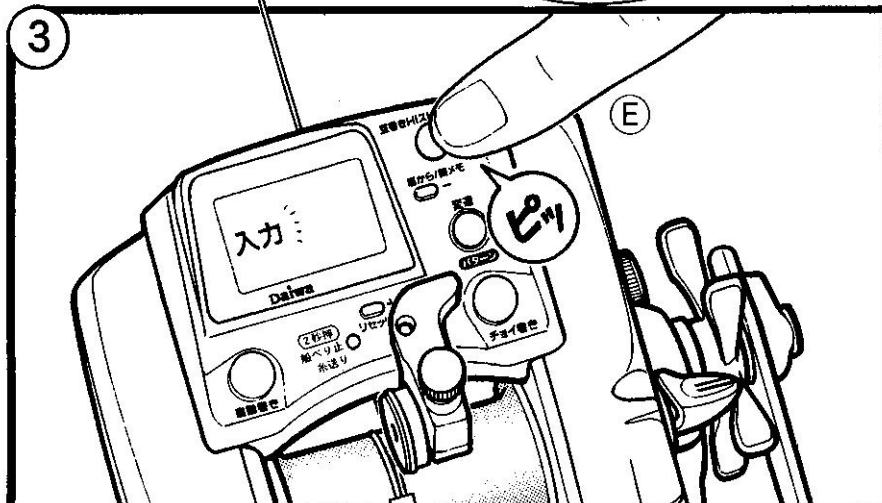
赤キャップ プラス(+)  
黒キャップ マイナス(-)

(D)コードコネクターをリール本体に取り付けます。

コネクターは+-逆接防止のため、図のような形状(くぼみ)になっております。ご注意ください。



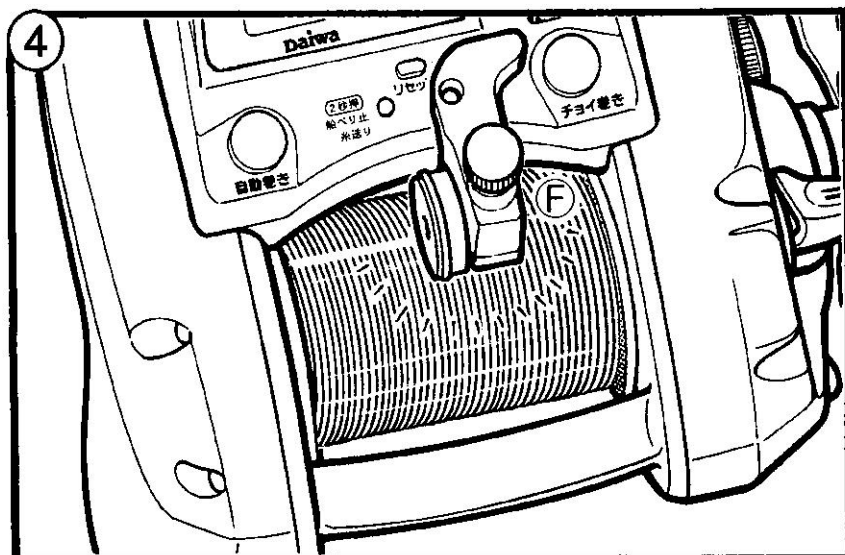
自動的に入力モードになります。



(E) **空巻きHiスピード** スイッチを押して、道糸を巻きます。

実際に使うときと同じように少しきつめのテンション(約500g程度)で巻いてください。

最初に道糸を巻くときや、巻きかえるときは以下の操作を行ってください。  
マイコンに道糸のデータが入力されカウンターが正常に働きます。



(F)「速攻スケール」に道糸が当たるまで巻いてください。

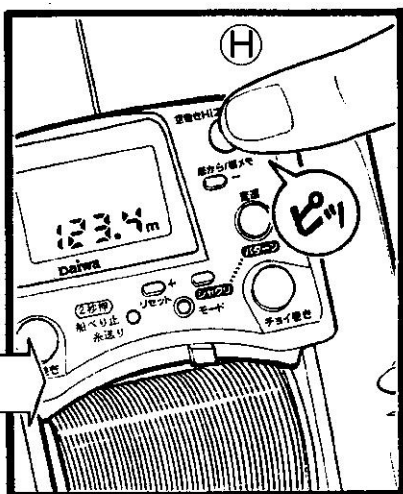
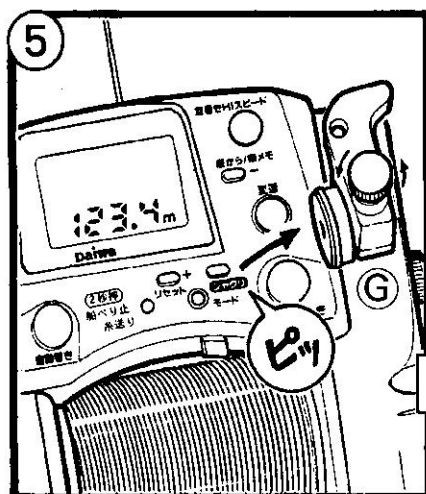
スケールに当たると、ローラーが回り自動的に停止し、表示が変換します。

【ご注意】 スケールにあたるまでの巻き糸量は、

「棚センサーブライト」で

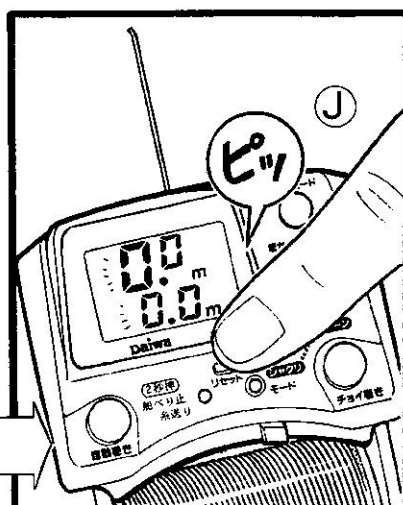
	S500	S600
4号	220m程度	300m程度
5号	180m程度	260m程度
6号	160m程度	220m程度
8号	120m程度	160m程度

テンションによって多少前後することがあります。



(G)スケールを外してください。

(H)再度、**空巻きHiスピード**スイッチを押して残りの道糸を巻いてください。



(I)巻き終わったら、**空巻きHiスピード**スイッチOFF。

【ご注意】 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でスイッチをOFFにして、**手引き**スイッチや、ハンドルで巻いていただいてもけっこうです。

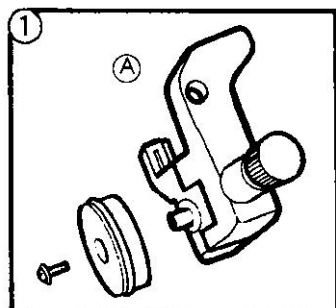
(J)最後に**リセット**スイッチを2秒以上、表示が 

0.0m
0.0m

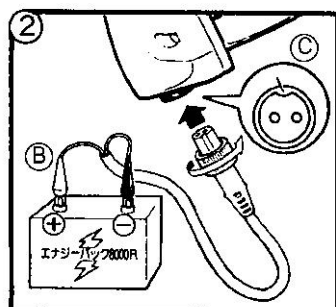
 になるまで押してください。

(これで完了です)

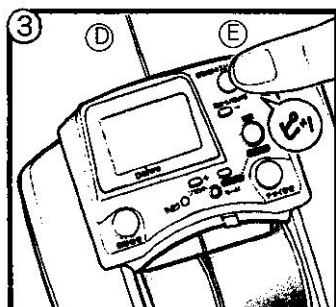
## 下巻きをするときの道糸データ入力方法



(A) : まず、ネジをゆるめて「速攻スケール」からローラーを取り外してください。

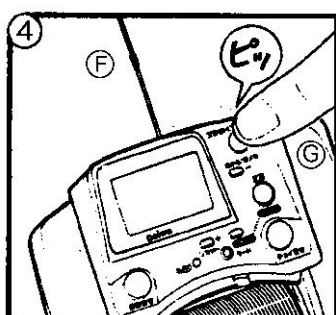


(B) : ワニグチクリップを電源 (DC12V) につなぎます。  
赤キャップ プラス (+)  
黒キャップ マイナス (-)



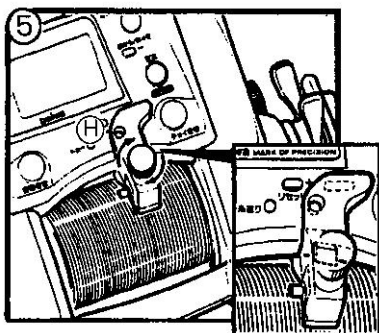
(D) : 下巻き糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

(E) : **空巻きHiスピード** スイッチを押して下巻き糸を適量巻いてください。



(F) : 道糸と下巻き糸を結び付けてください。

(G) : 道糸の糸色を見ながら残り100mまで巻き取ってください。  
(ただし、用意した道糸量が100mの場合、すぐ(F)から(H)へ。)

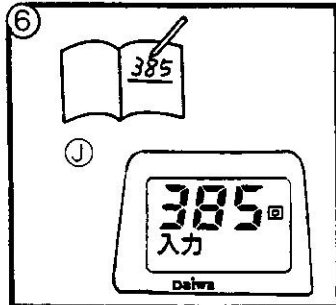


(H) : 図のようにローラーを取り外した「速攻スケール」をリール本体に取り付けてください。

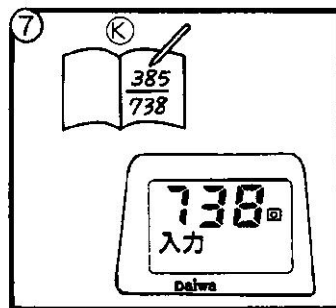
(I) : 自動的に入力モードになります。



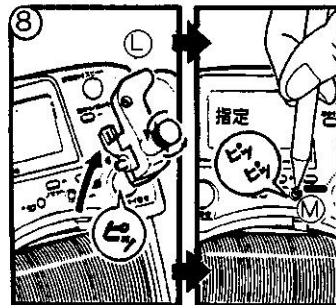
(ただし、長さのわかる道糸が 100m 以上必要です)



(J) : 道糸の糸色に注意しながら50m巻き取り、そのときの回転数をメモしてください。

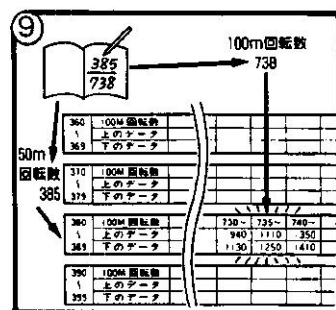


(K) : 道糸を巻き込まないように注意しながら残りの道糸をすべて巻き取り、そのときの回転数をメモしてください。  
この場合738回。



(L) : スケールを外してください。

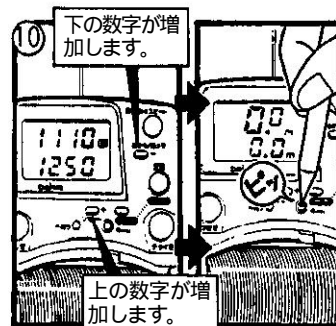
(M) : **モード** スイッチを2度押して **指定モード** にしてください。



(N) : 表を見てメモした50mの回転数と100mの回転数から、入力データを確認してください。

$$\text{この場合 } \frac{1110}{1250}$$

(O) : **リセット** ボタン(上の数字変更用)と**セット** ボタン(下の数字変更用)を押して、確認したデータの数字に画面表示を合わせてください。



#### スイッチ操作

- ・ 押すごとに10単位ずつ増加。
- ・ 押したままにすれば100単位ずつ増加。
- ・ 失敗して数字を増やしすぎてしまっても、押したままにすれば、高速で増加後、300に戻り、再び増加させることができます。

(P) : **モード** スイッチをさらに1度押して、画面を  $\frac{0.0m}{0.0m}$  (電源ON初期状態) にしてください。(これで完了です。)



# 下巻きをするときの指定入力データ一覧(600サイズ)

50 M 回 転 数

270	100M回転数	530～	535～	540～	545～
↑	上のデータ	990	1480	2790	5680
279	下のデータ	1950	2730	4800	9350

280	100M回転数	530～	535～	540～	545～	550～	555～	560～	565～
↑	上のデータ	440	520	640	820	1100	1650	3110	6320
289	下のデータ	1010	1140	1310	1570	3070	2770	4850	9420

290	100M回転数	535～	540～	545～	550～	555～	560～	565～	570～	575～	580～	585～
↑	上のデータ	320	360	420	490	580	720	910	1230	1840	3460	7020
299	下のデータ	800	860	930	1030	1160	1330	1590	2000	2780	4860	9430

300	100M回転数	550～	555～	560～	565～	570～	575～	580～	685～	590～	595～	600～	605～
↑	上のデータ	310	350	400	470	540	650	800	1010	1360	2030	3820	7760
309	下のデータ	760	810	870	950	1050	1170	1340	1600	2000	2780	4840	9360

310	100M回転数	565～	570～	575～	580～	585～	590～	595～	600～	605～	610～	615～	620～	625～
↑	上のデータ	310	350	390	450	520	600	720	880	1120	1510	2250	4220	8560
319	下のデータ	730	770	820	880	960	1050	1180	1350	1590	2000	2760	4780	9230

320	100M回転数	585～	590～	595～	600～	605～	610～	615～	620～	625～	630～	635～	640～	645～
↑	上のデータ	350	390	440	500	570	670	800	970	1230	1660	2470	4640	9410
329	下のデータ	740	780	830	890	980	1060	1180	1340	1580	1970	2710	4680	9010

330	100M回転数	605～	610～	615～	620～	625～	630～	635～	640～	645～	650～	655～	660～
↑	上のデータ	380	430	480	550	630	740	870	1070	1360	1820	2710	5090
339	下のデータ	740	790	830	890	960	1050	1170	1330	1560	1940	2650	4550

340	100M回転数	620～	625～	630～	635～	640～	645～	650～	655～	660～	665～	670～	675～	680～
↑	上のデータ	380	420	470	530	600	690	810	960	1170	1480	1990	2970	5560
349	下のデータ	710	750	790	830	890	950	1040	1150	1300	1520	1880	2560	4370

350	100M回転数	640～	645～	650～	655～	660～	665～	670～	675～	680～	685～	690～	695～	700～
↑	上のデータ	420	460	520	580	660	760	880	1050	1280	1620	2180	3240	6060
359	下のデータ	710	750	780	830	880	940	1020	1130	1270	1480	1810	2450	4140

360	100M回転数	660～	665～	670～	675～	680～	685～	690～	695～	700～	705～	710～	715～	720～
↑	上のデータ	460	510	570	640	720	830	970	1150	1400	1770	2370	3520	6600
369	下のデータ	710	740	770	820	860	920	1000	1090	1220	1420	1720	2310	3860

370	100M回転数	675～	680～	685～	690～	695～	700～	705～	710～	715～	720～	725～	730～	735～	740～
↑	上のデータ	450	500	550	620	690	790	900	1050	1250	1520	1920	2580	3830	7160
379	下のデータ	680	700	730	760	800	840	900	960	1050	1170	1340	1620	2140	3540

380	100M回転数	705～	710～	715～	720～	725～	730～	735～	740～	745～	750～	755～	760～
↑	上のデータ	600	670	760	860	980	1140	1360	1650	2090	2790	4150	7760
389	下のデータ	720	740	780	820	860	920	1000	1100	1250	1490	1950	3160

390	100M回転数	735～	740～	745～	750～	755～	760～	765～	770～	775～	780～
↑	上のデータ	820	930	1070	1240	1470	1790	2260	3020	4480	8380
399	下のデータ	750	780	820	870	930	1020	1150	1350	1720	2720

400	100M回転数	765～	770～	775～	780～	785～	790～	795～
↑	上のデータ	1150	1340	1590	1930	2440	3260	4840
409	下のデータ	770	810	860	930	1020	1180	1470

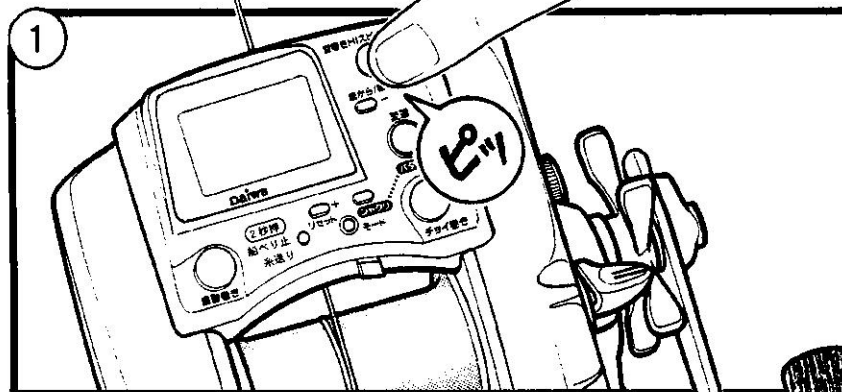
# スーパータナコン S500・S600

## 指定入力

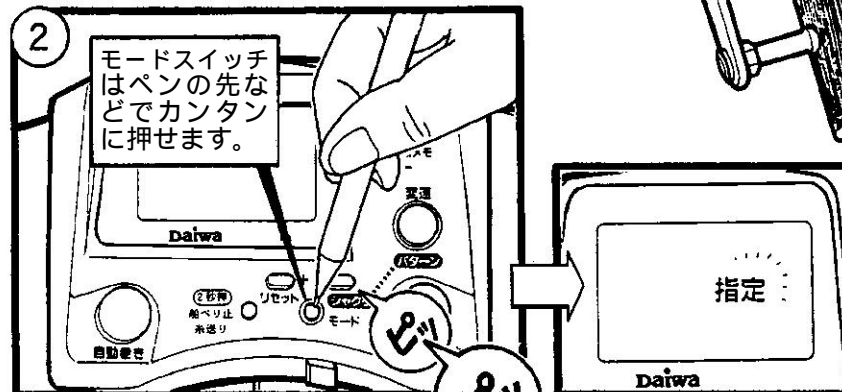
当社胴付系「柵センサーブライト」を巻くとき、たいへんかんたんな入力方法です。



「指定入力」とは、当社「柵センサーブライト」を巻くとき、「速攻スケール」を取り付けなくてもデータを入力するだけで道糸入力できる便利な入力方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。  
下巻きをしない場合  
下記の表に記載されている号数および巻き糸量の場合。



スプールに糸を結び通電して用意した、「柵センサーブライト」を巻いてください。



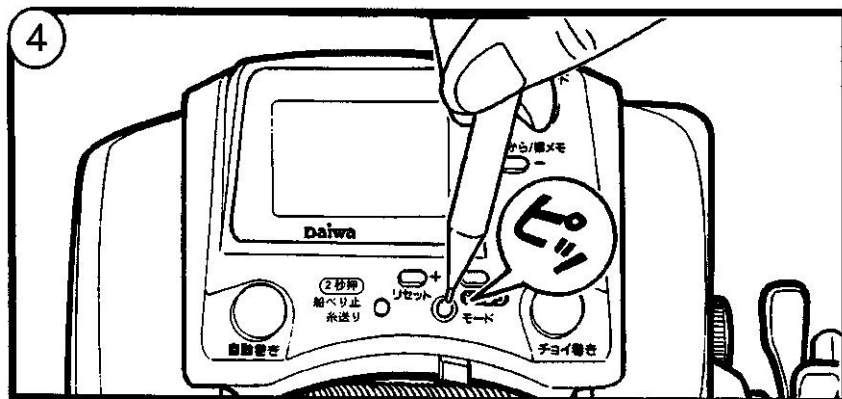
巻き終わったら **モード** スイッチを2回押してください。(指定モードに変換される)



**底から/柵メモ** スイッチ(下の数字の増加)と、**リセット** スイッチ(上の数字の増加)を使用して、右表の数値を入力してください。

スイッチ操作  
押すごとに10単位ずつ増加  
押し続けると100単位ずつ増加  
数字が通りすぎてしまっても、押し続ければ300に戻り再入力できます。

# 指定入力データ



さらに「モード」スイッチを押して  $\begin{matrix} 0.0m \\ 0.0m \end{matrix}$  に戻して入力完了です。



**表の見方** たとえば500番サイズのリールに5号を300m巻くときの指定入力の上のデータと下のデータは？

棚センサーブライト		4号	5号	6号	8号	
S 5 0 0	上のデータ	1560	1250	1090	760	
	下のデータ	200m	1560	1520	1490	1400
		300m	2220	2140	2080	
		400m	2820			
S 6 0 0	上のデータ	2030	1690	1410	1000	
	下のデータ	200m	1480	1450	1420	1350
		300m	2120	2060	2000	1890
		400m	2720	2620	2540	

上のデータ：1250

下のデータ：2140

棚センサーブライト		4号	5号	6号	8号	10号	
S 5 0 0	上のデータ	1560	1250	1090	760		
	下のデータ	200m	1560	1520	1490	1400	
		300m	2220	2140	2080		
		400m	2820				
S 6 0 0	上のデータ	2030	1690	1410	1000	860	
	下のデータ	200m	1480	1450	1420	1350	1320
		300m	2120	2060	2000	1890	
		400m	2720	2620	2540		